

日本大学 桜樹会会報

第 15 号

昭和53年5月

日本大学 桜樹会



人体が白い鉄のように大きくひらき
空中から飛んで来て
白い蝶みたいに羽根をそろえて休み……

三島由紀夫「美と力の接点，体操」より

目

次

口 絵	浜 田 靖 一	
旅	門 脇 春 男	2
今後の強化に思う	遠 藤 幸 雄	4
スポーツと縁起	小 松 武 雄	5
競技会成績		8
昭和52年 会員総合報告		13
昭和52年度 事業及び行事報告		13
昭和52年度 決 算 報 告		14
全日本選手権選手派遣カンパ報告		15
昭和52年度 1種審判員合格者		15
あすなろ国体懇親会報告		16
ゴルフコンペ成績		16
昭和53年度 桜樹会役員		17
昭和53年度 体操部役員		17
昭和53年度 桜樹会予算		17
昭和53年度 体操部行事予定		17
昭和53年度 体操部新入部員		18
抱 負	主将 他	18
会費領収について	総 務	19
会員名簿訂正・追加		21
ドイツ生活あれこれ	今 村 悟	24
編 集 後 記		29

旅

副部長 門 脇 春 男

「旅」には未知のものに対する夢と希望とがあり、ときにはまた、想い出が甘く、悲しく、楽しくあとあとまで残るものである。

今から25年～30年程前には旅行するにあたって「米」を持って行かねばならなかった。私の長距離旅行のはじめては、昭和24年の神奈川での国体のときで、このときは米を7升ばかり持って東北の秋田から出かけていったものだった。1週間位の旅なので半分を自分用に、半分は宿に売ってお金にした。(終戦後のこととして先輩からこの方法で自分のこづかいは工面するのだと教えられた) この当時は食糧などというものは全くといっていい程なく、米をもっていると大いばりて旅行ができたのである。このようなことが昭和26年の広島での国体のときまで続いた。当時国体列車が特発され、途中途中で各都道府県の選手団を拾って目的地まで移動した。各選手団はいわば呉越同舟であり、お国自慢の話やら、郷土の銘産やらを交換しながら、1昼夜でも2昼夜でも列車に揺られて旅したものだ。

夜行寝台列車、これはその頃贅沢な乗り物ということで、学生や若い人は利用することを遠慮していた。今でこそ若い人も自由に利用できるようになったが、この当時若い者が寝台車に乗っているものなら、ジロジロと変な目で見られたものだった。

昭和33年の大阪で行なわれたインカレは、日大がチームを結成して初めての遠征であった。この遠征では、東京一大阪間をいち番早く走れる特急「つばめ」を利用した。なにしろ8時間で走る国鉄自慢の列車であった。食堂車の営業は帝国ホテルがやっていた。スूपなるものをオーダーし、二・三品の料理一式を食べたのもこの頃が初めてだと記憶している。

昭和39年、東京オリンピックに合わせて新幹線ができた。「スーパー・エクスプレス・カーシンカンセン」は、早くて乗り心地が快く、しかも大量の輸送が可能な乗り物として今世紀最高の画期的なものであった。コンピューターシステムが自分の希望する列車や座席を瞬時にして選び出してくれるし、さらにカチャカチャと機械が動くとき切符までとび出してくるなどまさに驚異である。昔は自分の駅の割当枚数を売りつくすと隣接駅に問い合わせて探してくれたものだったが、科学の力とはすばらしいものである。人類が、省力化のため全知全能をかたむけ、巨額の費用を投じて開発に努力することに敬意を払いたい。

旅には「出会い」というものがある。そこにはなんらかの人間関係が生じる。友情が生まれ、愛情がめばえそして惜別の悲しさがある。いわゆる人生のロマンが描かれる。スポーツを通じて、学問を通じて、旅行を通していろいろな友

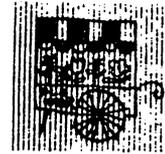
人・知人関係ができる。

ものには「出会い」があって「さらば」がある。武士ことばの「さらば」には、出会いに対する感謝と次の出会いまでの活躍と成長の期待がこめられていると聞き及んでいるが、旅は人生の「出会い」と「さらば」の繰り返しではないだろうか。

(53. 5. 7 北海道・札幌にて記す)

註 今回北海道地区スクーリングが日大通信教育部によって計画されて出張して来ているが、工藤道弘君(昭和36年度商学部卒、現三愛札幌店長) 藤谷弘一君(昭和36年度文理卒、現東海大第四高校教務主任) 川口 亨君(昭和41年度商学部卒、現小林記録紙販売・札幌営業所課長) 渡辺富代君(昭和45年度文理卒、現静修高校教諭)達と会い、さらには、函館の中島 元君(昭和38年度文理卒、現道立木古内高校教諭) 旭川の山内 悟君(昭和41年度文理卒、現旭川大学高校教諭)と電話でいろいろ語り合った。

全員それぞれの社会的立場を守り、大いに活躍していました。ご報告します。



今後の強化に思う

監督 遠藤 幸雄

昭和53年度の日本大学入試は、個人推薦なしという画期的な転換をしました。奉職する者としてルールを遵守するのは当然ですが、監督を兼ねる立場からは新たな悩みが誕生したといえます。

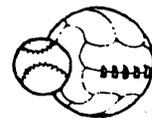
それは新入部員の極端な減少ということです。去る4月20日より3日間、一般募集を他のサークルと共に実施しましたが、成果は女子1名という実に淋しいものでした。現在、新入部員は男女共それぞれ6名です。

ご承知のように、学生は学連という組織で動いておりますが、このような金の卵に学連要員を押しつけるわけにはいきません。学連要員は

ともかく、チャンピオン・スポーツに関係するものとして第一目標を勝つことにおくのは勿論であり、一層少数精鋭主義をとらざるを得ません。また、近年インカレでの優勝回数(男子)を重ねつつある日本大学に対して、他大学の動きは大変厳しいものがあります。

このような状況下において伝統を堅持していくためには、日ごろ現場で生徒を指導されている諸先輩の多大なご協力が不可欠であり、今後合宿・合同練習など大学施設の利用、あるいは高校生の技術動向などの情報交換を密にしていきたいと考えています。

53. 4. 25



ス ポ ー ツ と 縁 起

小 松 武 雄 (第5回卒)

縁起とはもともと仏教からきた言葉で、原因だけでは結果は生じないとする「因縁生起」の略であり、力がおこる・生ずるという意味である。この原因結果の関係を意味したものが、後にキザンの意味に用いられ、縁起がよいとか悪いというように変化したものである。

縁起は、英語の Arigin, 独語の Geschichte がこれにあたり、俗に御幣かつぎとかゲンがよい・悪いなどともつかわれている。Jinx は悪い縁起や悪因縁をさし、縁起の悪い事象・人・物などをいう。Mascot は幸福をもたらすもので、事を首尾よく運ぶ事象・人・物などをさしている。

人間の社会では、この縁起をかつぐ事が非常に多い。ある人は背番号の数字に、ある人は試合の日のできごとで縁起をかついだりする。高校野球の選手でさえ氏神様のお守や両親やファンからおくられた多くのお守りを身につけている。スポーツの場だけでなく日常生活においても縁起やつきに関連する言葉や表現は多く、迷信的ではあるけれどもこれらの心身に及ぼす影響はかなり大きいものがあると思われる。一般に手相・人相・カルタ・トランプ・夢判断・カレンダー占い・姓名判断・種々の占い・数の吉凶・生れ月・方角などによって縁起がかつがれることが多い。

縁起をかつぐのは一般に自分の行動の結果が

不明確で、しかもその行動過程の中にその成功や失敗を左右するような偶然的要因が介在する余地があると考えられる場合に多い。本来、縁起とはその行動と何ら関係のない事象・人・物などを運・不運・吉凶などと結合させる心的活動である。事象の類似・言語の類似などの類似連合や接近連合などによって作られた意味のないものであり、何の関係もないものを何かの関係があるように思うところに縁起かつぎの本質がある。人々は縁起をかつぐことによって、その親切な差別のない恩恵にあずかろうと欲し、特に技量や才能等に自信のない人は賭事的感覚でそこに新たな報いをもたらす目に見えない奇蹟のようなものを希望しがちである。

殊に、スポーツ選手は常に強い焦燥感や不安感や追いつめられたぎりぎりの心理状態に陥入る事が多いので縁起をかつぐ場合が多い。スポーツ選手はどんな場面でも逃げ出すわけにはいかない。「苦しい時の神頼み」とか「溺る者は藁をもつかむ」などといわれるが、追いつめられた立場に直面すると人は自分以外の力に頼ろうとし奇蹟を願う。危機的立場に立たされるとこのような感情が入り込む隙が生ずる。一種の人間の弱さでもある。そんな時、何か自分からいいきかせ、自分を納得させるような根拠がほしい。逆にみれば、一種の自己防衛的行動として不安感・恐怖感・悩みなどの苦痛から逃避す

る適応機制が縁起やつきという形で表われる。

スポーツの場では、勝つ可能性とともに負ける可能性も含まれている。勝利を目指してスポーツ活動に取り組む選手達は、外力に抑圧されて精神構造が特質化し不安感や恐怖感に襲われている。従って縁起かつぎのしのび込む際は非常に多いと思われる。

このような場合の縁起かつぎの対象になるのは、以前の経験において成功（失敗）した同じ事が繰り返されて成功（失敗）した場合に、それらの事象・人・物などが一層強く勝敗と結びつけられて縁起の対象になる場合が多い。

スポーツの場では、一定の事象・人・物が勝敗と結びつきその経験をふまえて縁起がかつがれる。縁起をかつぐようになるには二つの条件が必要である。一つは成功（失敗）の原因と仮定する事象・人・物が珍しいものであること。いま一つは成功（失敗）が印象的（どうしても勝ちたいと思った時に勝ったなど）であること。この二つの条件がみとされると成功（失敗）とその時の事象・人・物との間に神秘的関連があるものとして両者を結びつける。両者の間に明確な因果関係がある事を意識しなくても漠然と何かの不思議な力が働いたと思うだけで縁起をかつぐようになる。同じ事が繰り返されると両者は一層強く結びつけられる。

松田は大学の運動選手を対象に調査した研究の中で、男女とも20%位の選手が縁起をかつぐことをみい出し、具体的に記入された項目内容を分類している。

それをみると、

1. 数字に関するもの
2. 服装に関するもの
3. 刃物に関するもの
4. 道順に関するもの
5. 偶然のできごと
6. 行動に関するもの
7. 場所に関するもの

の順に頻度が高いと報告している。

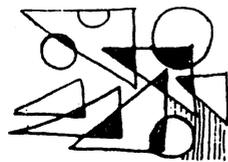
縁起をかつぐ者は著しくそれにこだわる。なかには癖と区別できないようなもの、理屈をつけて合理的に思わせているものもある。しかし、一方では試合前の選手の不安定な心や動揺する心を平静にし、自信をもって競技させる役割を果している。

一般に不安傾向が強く神経質な人に縁起をかついだり、つきを信じ込む人が多いようだ。従って、心の動揺の安定をはかり自信をもたせ士気を高めるために逆にこれを利用する場合もある。また、チームや集団で縁起やつきを意識する場合もあるが、これも個人の場合と同じような過程でつくられる。

個人でもチームでも、また競技種目によっても異なるので、適応・不適応の問題とも関連して適切な処置を講じたり、有効に利用することを考える必要がある。作戦として、縁起をかついでいる相手にはこれを利用して味方の士気を高め、相手の意気をそこなわせる事もできよう。一度できた縁起を破る事はなかなか容易ではない。しかし、積極的に今までとらわれていた味方の縁起を打ち破ることにより味方の士気を高め自信を強める場合もある。

縁起をいわゆる仏教的に力の生ずる根源的なものとして認識させることにより、一つの力として利用するか、非科学的な根拠のない迷信として捨てさせるようにするかは自由であり、その時の性質によって異なる。しかし、それは指導者の知恵でどのようにも利用できるものである。確かに縁起は一種の迷信であるが、選手の精神的よりどころとなっているなら、うまく利用すればよい。「運やつきやジンクスなどは一切ない。要は実力だ。練習あるのみだ」の一点

張りで、選手がもっているささやかな宝物を一笑してしまふやり方は指導者の知恵として問題があろう。近代スポーツを楽しむ明朗性を尊ぶ運動選手が、このような非科学的迷信によって悩み、それを作戦にまで利用することは不思議なとりあわせでもある。しかし、これは人間の弱さが克服されない限り容易にはならないものであろう。要は、縁起はかつぐべきものであって、かつがれてはならないということである。



競 技 会 成 績

ユニバーシアード選手選考会

52. 5. 28 駒沢体育館

(男子)

個人総合 4位 松本 俊一
8位 境 保則

(女子)

個人総合 5位 西沢真理子
9位 内田 俊子

N H K 杯 選 手 権

52. 6.3~5 島根県立体育館

(男子)

個人総合 13位 金居 俊郎
15位 松本 俊一

(女子)

個人総合 13位 坪田真由美
15位 西沢真理子
16位 内田 俊子

第 11 回 東日本学生選手権

52. 6.17~18 宮城県営スポーツセンター

(男子)

団体総合 優勝
個人総合 2位 金居 俊郎
5位 松本 俊一
6位 慶田 盛定
7位 山脇 恭二
13位 境 保則

(女子)

団体総合 2位
個人総合 2位 西沢真理子
10位 萩原美和子
12位 高橋 亜子
13位 坪田真由美

種目別 ゆか 6位 藪野 睦明
6位 金居 俊郎
あん馬 1位 山脇 恭二
4位 金居 俊郎
つり輪 1位 山脇 恭二
2位 慶田 盛定
2位 金居 俊郎

種目別 跳馬 4位 西沢真理子
5位 高橋 亜子
平行棒 4位 萩原美和子
平均台 3位 西沢真理子
ゆか 1位 西沢真理子
3位 萩原美和子

種目別	跳馬	2位	山脇 恭二
		4位	松本 俊一
		4位	慶田 盛定
平行棒		1位	慶田 盛定
		3位	松本 俊一
		4位	境 保則
鉄棒		1位	松本 俊一
		3位	慶田 盛定

第 31 回 全日本学生選手権

52. 7. 13~16 駒沢体育館

(男子)

団体総合	優勝	
個人総合	2位	金居 俊郎
	4位	山脇 恭二
	6位	松本 俊一
	13位	境 保則
	16位	慶田 盛定
種目別	ゆか	3位 松本 俊一
		5位 金居 俊郎
	あん馬	2位 山脇 恭二
	つり輪	2位 金居 俊郎
		6位 松本 俊一
	跳馬	2位 山脇 恭二
		5位 慶田 盛定
		5位 藪野 睦明
	平行棒	1位 松本 俊一
		6位 金居 俊郎
	鉄棒	3位 松本 俊一
		4位 境 保則

(女子)

団体総合	4位
個人総合	10位 萩原美和子
	16位 西沢真理子
種目別	跳馬 4位 萩原美和子
	ゆか 4位 萩原美和子

第 7 回 全日本ユース大会

52. 9. 15 代々木第二体育館

(男子)

個人総合 4位 中村 秀也
9位 松永 二郎

関 東 学 生 新 人 戦

52. 10. 16 駒沢体育館

(男子)

団体総合 3位
個人総合 6位 国井 信行
種目別 あん馬 1位 遠藤 孝之
跳馬 1位 兎沢無二夫

(女子)

団体総合 4位
個人総合 6位 高橋 亜子
種目別 平行棒 5位 鮎合みのり
平均台 5位 高橋 亜子

第 31 回 全日本選手権

52. 10. 21~23 静岡草薙体育館

(男子)

団体総合 5位
個人総合 9位 金居 俊郎
種目別 ゆか 5位 金居 俊郎
あん馬 5位 金居 俊郎

(女子)

団体総合 6位
個人総合 20位 西沢真理子
29位 坪田真由美

第 9 回 T B S 杯

53. 4. 11 東京体育館

(男子)

種目別	あん馬	5位	後閑 文昌	8.45	鉄棒	6位	平田 倫敏	8.90
	つり輪	1位	平田 倫敏	9.10		7位	慶田 盛定	8.85
	跳馬	1位	平田 倫敏	9.350				
		4位	中村 秀也	9.175				
	平行棒	6位	慶田 盛定	8.55				
		8位	井上 祐二	8.30				

第 19 回 世界選手権第二次選考会

53. 5. 1 ~ 2 代々木第二体育館

1位	梶山広司	54.80	56.65	111.45
8位	錦井利臣	54.40	54.85	109.25
10位	金居俊郎	53.95	54.25	108.20
15位	山脇恭二	53.30	53.40	106.70
27位	平田倫敏	52.20	50.70	102.90
28位	松本俊一	52.25	49.85	102.10
29位	千田修平	51.05	50.55	101.60
33位	前山真一郎	50.30	49.90	100.20
35位	寺元良人	52.00	24.70	76.70 (3種目棄権)

ニュージーランド遠征

52. 5. 1 ~ 12 松本俊一

ユニバーシアード大会 (ソフィア市)

52. 8. 17 ~ 28 梶山広司 松本俊一 西沢真理子

ヨーロッパツアー

52. 10. 24 ~ 11. 7 松本俊一 金居俊郎

アメリカン・カップ

53. 3. 7 ~ 18 金居俊郎



桜樹会競技会成績

第 10 回 全日本社会人大会

52. 910～ 11 宇都宮体育館

(男子)

(女子) 2部

団体総合 4位

個人総合 1位 梶山 広司(日大桜樹)

個人総合 1位 小川美祢子(足利西高教員)

6位 寺元 良人(河合楽器)

9位 千田 修平(河合楽器)

第 31 回 全日本選手権

52. 1021～23 静岡草薙体育館

(男子)

(女子)

個人総合 2位 梶山 広司(日大桜樹)

個人総合 4位 林田 房美(東京相互銀行)

8位 錦井 利臣(河合楽器)

※ 日大桜樹クラブは規定予選失格



昭和52年 会員総会報告

総務

昭和52年会員総会は、11月6日午後3時から体協301号室で開催された。開期が不定期となったため、今回の総会は正式には昭和51年度総会であるが、紛らわしさを避けるため、昭和52年会員総会と呼称することとした。

ところで、総会にはわずか11名の出席しかなく大変さびしいものとなった。その後行なわれた懇親会には20名の参加があったが、年1回の集いにしてはとても盛会とは言い難い状況であった。総会開期については、できるだけ多くの会員が出席できるよう配慮しなければならないことを痛感した。

総会では決算報告・行事報告など承認のあと議事に入り、主として選手派遣カンパの是非について論じられた。要旨は次の通りである。

1. カンパに対する協力者が36名であり全体のわずか10%に過ぎないことは一考を要すべきである。
2. チーム編成に無理がなかったかどうか。

3. 補助を受ける側の選手にカンパの主旨が徹底していたのかどうか。
4. 次年度以降のチーム編成の可能性はどうか。またチーム派遣のメリットはあるのか。
5. チーム参加以外の個人参加の会員に対する補助の扱いをどうするか。

以上のような意見が出て、選手派遣のためのカンパ要請に対して疑問視するむきが大勢を占めた。今後の選手派遣補助については、幹事会等で慎重に検討し、本会の主旨から逸脱しないよう留意しなければならない。

最後に、会長・副会長の留任を全会一致で決定し総会を終了した。

出席者

稲橋恒行、石井征也、堀田淳二、菊地君男
上野 剛、鶴見異人、岩沢 稔、朝倉徳雄
海谷美代子、原 弘吉、谷田部光則

委任状 84通

昭和52年度 事業及び行事報告

1. 会報の発行

第14号 52. 5

2. 競技会出場(桜樹クラブチーム)

第10回全日本社会人大会 52. 9(宇都宮)

第31回全日本選手権大会 52.10(静岡)

3. 親睦会等の開催

(1) 顧問 門脇春男氏教授昇格祝賀パーティ

52.5.28 南国酒家(原宿)

参加 57名

(2) 会員総会・懇親会

52.11.6 体協・南国酒家 20名

(3) ゴルフコンペ

第18回 52.6.9 千葉アサヒカントリー 11名

(4) 忘年会

第14回 52.12.3~4

成田ビューホテル 25名

(5) 幹事会

52.4.25 52.9.17

(6) その他各大会地における懇親会

昭和52年度決算報告

総務 菊地君男

収入の部

鶴見興人

項 目	金 額	備 考
繰越金	1,505	
会費	474,000	過年度分 34,000 52年度分 423,000 次年度分 17,000
選手派遣カンパ	162,000	36名分
雑収入	57,032	懇親会等余剰金 54,022 利息 3,010
合 計	694,537	

支出の部

項 目	金 額	備 考
事業費	329,000	会報第14号印刷費 116,000 社会人大会チーム派遣費 100,000 全日本選手権チーム派遣費 113,000
補助費	78,500	インカレ 30,000 インカレ祝勝会 30,000 会員総会懇親会 18,500
会議費	8,950	体協室代他
通信・印刷費	126,530	切手・はがき代 17,160 会報送料 46,590 入会申込書 6,000 総会カンパ通知 37,760 門脇師パーティ通知 18,480 祝電 540
事務費	4,825	原稿用紙, 封筒等
雑費	7,915	口座手数料 4,915 ゴム印 3,000
繰越金	138,817	
合 計	694,537	

昭和53年4月6日 幹事一同監査の結果、以上の通り相違ないことを確認いたしました。

幹事長 吉川 輝

全日本選手権大会選手派遣カンパ収支報告

総務

昭和52年9月20日付で皆様呼びかけましたところ、下記の方々より送金がありました。
ご協力を深く感謝いたします。

(受付順) 岩田 惇, 平川 文雄, 山崎 雅昭, 小田原行雄, 原 弘吉,
関 辰男, 菅原 明雄, 石毛 英三, 石毛 誠, 山田 隆士, 上野 剛,
志賀 正昌, 松本 恭子, 五十嵐久人, 朝倉 徳雄, 武田 和子, 菊地 君男,
野崎 建史, 稲橋 恒行, 石井 征也, 鶴見 興人, 菅野 秀俊, 石塚 弘子,
山本 好隆, 海谷美代子, 中島 節子, 木村 邦博, 浅田 泰男, 中島 元,
黒崎 叔行, 山内 悟, 小栗 郁郎, 芳尾 明, 寛山 秀成, 佐野 静雄,
堀田 淳二, 岩沢 稔 以上 37名

カンパ総額 162,000円 補助額 113,000円 本会会計繰入額 49,000円

昭和52年度 1種審判合格者

(女子)

試験日 52. 12. 17 ~ 18

試験場 日本女子体育大

(男子)

試験日 53. 3. 18 ~ 19

試験場 日本体育協会

官本敏子 本部受験 第17回卒	日大豊山女子	宇津 豊 島根 第10回卒	県立体育館
山崎信恵 東京 第15回卒	東京相互銀行	橋口泰武 千葉 第8回卒	日大理工学部
奥田早苗 福井 第13回卒	県立若狭高	大塚文夫 千葉 第11回卒	千葉経済高
田中清子 和歌山 第12回卒	県立和歌山北高	近藤盛一 鳥取 第8回卒	米子北高
渡辺和子 鳥取 第16回卒	米子市立第一中	住広 晃 福井 第15回卒	鯖江高
林 恵子 埼玉 第8回卒		林富久寿 茨城 第15回卒	日大土浦高
		石井悦夫 神奈川 第13回卒	相工大付高

1種審判員講習会後の懇親会

昭和52年12月17日、1種審判員講習会のため
全国から参集した会員の方々に、下高井戸幸寿司にお
いて懇親会を開催いたしました。幹事 原 弘吉

[出席者] 顧問 門脇 春男 小田原行雄
第4回 上野 剛 第7回 佐藤 勲
第4回 木村 多喜 第8回 伊藤 勇
第4回 早田 卓次 第8回 小柴 守夫
第7回 海谷美代子 第11回 宇野 正信
第7回 荻込 和男 第11回 原 弘吉

第12回 稲谷 清子 第16回 林田 房美
第13回 奥田 早苗 第16回 渡辺 和子
第13回 高橋久美子 第17回 梶山 広司
第13回 西浜由美子 第17回 前山真一郎
第14回 青木 文次 第18回 和田 利一
第15回 山崎 信恵 第19回 佐藤 啓
第16回 杉村 久子 他 学生4名
第16回 寺元 良人
第16回 錦井 利臣

あすなろ国体懇親会報告

昨年10月2日～7日まで、青森県弘前市で行なわれた“あすなろ国体”の際、恒例の桜樹会懇親会が開催されました。遠く全国各地から集まった方々が一同に会し楽しいひとときを過ごしましたことを報告いたします。

(第8回卒 大和幸三 弘前学院勤務)

〔出席者〕 顧問 門脇 春男, 遠藤 幸雄, 小田原行雄

第3回 三田 久	第8回 大和 孝三	第13回 中村 栄喜	第16回 藤沢 秀男
第4回 佐藤 誠	第9回 常井 晴道	第14回 青木 文次	第16回 野原 秀安
第5回 中島 元	第11回 宇野 正信	第14回 山崎 雅昭	第17回 前山真一郎
第7回 苅込 和男	第11回 大塚 文雄	第14回 田中 章二	第18回 佐藤 之俊
第7回 海谷美代子	第12回 菊地多美子	第15回 住広 晃	第18回 千田 修平
第8回 小柴 守夫	第12回 中野 憲明	第15回 山崎 信恵	学生 鹿野 久
第8回 船木 政明	第12回 田中 清子	第15回 林 富久寿	
第8回 平野 昌宏	第13回 椎名 昇	第15回 中島 松子	

ゴルフコンペ成績

第 18 回 52. 6. 9 千葉アサヒカントリー

Name	東	南	西	Gross	Hdep	Net	Rank
稲 橋	51	50	48	149	21	128	10
山 中	41	35	41	117	0	117	6
高 石※	49	43	43	135	21	114	5
阿 部※	43	40	42	125	13.5	111.5	4
高 田	47	43	41	131	9	122	7
角 田※	39	37	44	120	18	102	1
鶴 見	55	50	53	158	33	125	9
岩 田	51	49	61	161	54	107	2
菊 地	43	50	47	140	9	131	11
福 田※	50	62	45	157	33	124	8
鮎 沢※	49	51	56	156	48	108	3

※印 会員外参加

優勝 角 田※	B. G 角田, 山中, 高田 (0.5ラウンドごとに1回のみ受賞)
準優勝 岩 田	B. B 稲橋
第3位 鮎 沢※	D. C 山中, 角田, 鮎沢
	N. P 阿部, 福田, 鶴見

昭和53年度 桜樹会役員

会 長	稲橋 恒行	
副 会 長	石井 征也	堀田 淳二
幹 事 長	吉川 輝	
総 務	菊地 君男	鶴見 興人
会計監査	芳尾 明	小松 武雄
幹 事	平川 文雄	上野 剛
	早田 卓次	木村 多喜
	小栗 郁郎	岩沢 稔
	海谷美代子	朝倉 徳雄
	津村 二郎	原 弘吉
	外山 宣男	谷田部光則
	山崎 信恵	杉村 久子
	梶山 広司	前山真一郎
	宮本 敏子	佐藤 之俊
	中村 秀二	

昭和53年度 桜樹会予算

昭和53年4月6日の幹事会において下記の通り決定いたしました。会費収入が予算通り集りますよう皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

収入の部		支出の部	
繰越金	138,817	事業費	300,000
会 費	500,000	補助費	60,000
寄付金	50,000	会議費	20,000
		通信・印刷費	100,000
		事務費	10,000
		雑 費	10,000
		予備費	188,817
計	688,817	計	688,817

昭和53年度 体操部役員

部 長	浜田 靖一	
副 部 長	門脇 春男	
監 督	遠藤 幸雄	
コ ー チ	早田 卓次	木村 多喜
	梶山 広司	上野 剛
男子主将	瀬戸 伸一	
副将	後閑 文昌	
女子主将	内田 俊子	
男子主務	加藤 博章	
女子主務	吉野こずえ	

昭和53年度 体操部行間予定

53		
3.25~4.1	春季合宿	日大三島
3.31~4.2	ニースカップ	モスクワ
4.4~6	リガ大会	リガ
4.11	TBS杯	東京体育館
4.23	東日本 インカレ1次選考会	文理
4.30	同上最終選考会	文理
5.1~2	世界選手権 第2次選考会	代々木 第二体育館
5.6	新入生歓迎会	井ノ頭公園
5.13~14	全日本 インカレ1次選考会	文理
6.3~4	東日本インカレ	大田区体育館
6中旬	全日本 インカレ最終選考会	文理

6.16~23	上海国際競技会	上海
6.30~7.2	世界選手権最終選考会	東京体育館
7.27~31	全日本インカレ	京都府立体育館
8.2~4	インターハイ	郡山
8.6~7	全日本ジュニア	東京
8.23~24	全日本中学生大会	高松
9.9~10	全日本社会人大会	倉敷
9.15	アジア大会予選会	
9.下旬	全日本1次選考会	文理
10.上旬	向上最終選考会	文理
10.15~20	第33回国体	長野
10.22~29	第19回世界選手権	ストラスブール (フランス)
10.29	新人戦	駒沢体育館
11.17~19	全日本選手権	北九州市立体育館
11.25~26	中日カップ	愛知県体育館
12.2~3	国際選抜	
12.上旬	部内選手権	文理
12.19~26	第8回アジア大会	バンコク
54.2.中旬	体操部納会	
2.11~12	日本体操協会総会	体協

抱 負

主将 瀬戸伸一

体操競技は個人競技ではありますが、それ以前に団体総合により比重があると思います。これから東日本インカレ、インカレという大きな試合がありますが、団体優勝というひとつの目標に向って、チームとして、また部員ひとりひとりが意欲をもち、これまで先輩達が築かれた伝統を守るべく頑張っていきたいと思っています。

昭和53年度 体操部新入部員

〔男子〕

氏名	出身県	出身高
早瀬 幸博	兵庫	岡山日大高
伊藤 鈴夫	秋田	県立能代高
津村 吉輝	和歌山	県立和歌山北高
小田原隆禎	秋田	県立秋田工業高
渡辺 英明	広島	桜ヶ丘高(山口)
峯田 孝幸	山形	日大山形高
宮川 直人	熊本	東海大二高

〔女子〕

片山みちる	千葉	市立習志野高
高橋 薫	秋田	和洋女子高
宮本知加子	和歌山	県立和歌山北高
宮本 摂子	和歌山	武庫川高(兵庫)
榎野智恵美	山口	宇部女子高

これからの抱負

新入生 早瀬 幸雄

僕は高校時代に自分勝手な練習をしてきたのですが、大学に入ってそれが全く通用しないことがわかりました。これからは先輩の演技をよくみて、良い所・悪い所を研究し少しでも自分のものにしていきたいと思っています。また、力技が弱いなどの自分の弱点を強化するよう努力したいと思っています。

それから、高校時代にはできなかった事、しなかった事などいろいろありますが、練習面ではすばらしいコーチの先生方に学び、生活面では合宿所の先輩の方々に学んで、今までとは違った自分に成長できるよう勉強していきたいと思っています。

これからは初心にかえって頑張りますので、よろしく願いいたします。

～。。。。。。～ 会費領収について ～。。。。。。～

総務

会報第14号(P.29)に引き続き、昭和52年5月11日以降昭和53年5月20日現在までの納入者氏名及び納入金額。

52.5/14	荒井千文	3,000	6/23	酒井博行	3,000
"	金子正史	5,000	6/24	朝倉徳雄	3,000
5/17	青木久実	2,000	"	奥田早苗	3,000
5/18	増子良行	2,000	"	木村美知子	3,000
5/20	諸岡嘉春	10,000	6/25	佐藤勲	4,000
5/21	松岡範孝	3,000	"	朝倉康雄	10,000
5/24	波多野伸	4,000	"	庄司忠男	3,000
5/27	酒井清	2,000	"	菅原明雄	2,000
5/28	平川文雄	7,000	6/28	佐藤誠	3,000
"	梅崎捷也	10,000	6/29	久保英雄	6,000
"	早川尙夫	3,000	"	春山文子	5,000
"	五十嵐久人	2,000	"	川口幸彦	4,000
6/2	鶴見興人	4,000	7/2	里中昌子	3,000
6/9	島崎康行	3,000	7/5	藤沢秀男	2,000
6/10	森山理	3,000	7/8	岡本公子	4,000
6/13	山崎雅昭	2,000	7/9	山本光子	4,000
6/13	中島節子	2,000	7/10	宮本敏子	2,000
"	阿部稔	2,000	7/25	平野昌宏	5,000
6/14	赤上もと子	3,000	9/13	伊藤寛美	4,000
"	保坂弘一	5,000	11/6	堀田淳二	5,000
6/15	安田和明	3,000	"	稗田房子	4,000
6/16	八木久美子	3,000	11/7	岩沢稔	2,000
6/17	浅田泰男	4,000	12/12	千葉本子	4,000
6/20	杉村久子	2,000	53.1/3	望月敏正	14,000
6/21	岡本みどり	3,000	1/26	吉川輝	10,000
"	舟山忠広	3,000			
"	山村英子	5,000			

(以上会計年度・昭和52年度分)

(以下会計年度・昭和53年度分)

53.4/1	高橋和秀	2,000
"	朝倉和幸	2,000
"	小林敏彦	2,000
"	藪野睦明	2,000
"	板谷盛靖	2,000
"	水田靖夫	2,000
"	松本俊一	2,000
"	中村秀二	2,000
"	境保則	2,000
"	金居俊郎	2,000
"	畠山繁博	2,000
"	宮越達也	2,000
"	西谷雅世	2,000
"	佐藤悦子	2,000
"	斉藤藤太	2,000
"	巻島久	2,000
"	今井久美子	2,000
"	長野郁代	2,000
"	伊藤三千子	2,000
"	萩原美知子	2,000
"	大木真利子	2,000
"	西村久美子	2,000
"	佐藤啓	2,000
"	藤井昭生	2,000

(以上昭和53年度新入会員)

4/1	木村多喜	5,000
"	白土弘士	2,000
4/6	石井征也	5,000
5/13	池田智美	2,000

お知らせ

昭和53年度 会費について

本年度の会費額は次の通りです。

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

第1回卒～第4回卒	5,000円
第5回卒～第9回卒	4,000円
第10回卒～第14回卒	3,000円
第15回卒～第19回卒	2,000円

会費納入期限は昭和53年6月30日です。

※納入に際しては同封の振替用紙を
ご利用下さい。



会員名簿訂正・追加

53. 5. 20

会報14号に引き続き52年5月11日以降に移動があった会員及び昭和53年度新入会員について掲載いたしました。会員名簿の発行は昭和55年の予定ですので本項参照のうえ訂正して下さい。また、住所不明者についてご存知の方は総務宛ご連絡下さい。

- | | |
|---|---|
| 第2回吉川 輝 (勤・電)内 212 | 第8回大和 孝三 (現)036 弘前市城西 1-5-3
小野方
(電)0172-34-2970 |
| 第3回三田 久 (自・電) 01855-2-0405 | " 影山 真一 (現)784 安芸市寿町 6-10 |
| 第4回高田 信興 (勤)東西工業
(電)045-351-1031
(現)240 横浜市保土ヶ谷区藤塚 222-131
(電)045-312-0847 | 第9回朝倉 徳雄 (現)272-01 市川市本行徳2115
行徳ハイム 1-913
(電)0473-96-3775 |
| " 田野 哲 (自・電)0284-21-8994 | " 木村美知子 (現)419-01 静岡県田方郡東南町柏谷 1204-37 |
| " 池田 智美 (現)223 横浜市港北区下田町 1129
(電)044-63-3758
※昭和53年3月入会 | " 靱山 芳雄 (勤)県立金足農高船越分校
(現)011 秋田市將軍野東 3-1-23
(電)0188-46-2758 |
| 第5回磯部 忠通 (勤)磯部忠通商店経営
(電)093-882-4357 | " 吉田 義則 (自・電) 018875-3646 |
| 第6回浅田 泰男 (自・電) 045-352-3925 | 第10回箱根 修 (現)167 東京都杉並区成田東 5-16-14 さくら荘5号室
(電)削除 |
| " 仲西 盛光 (現)901-21 沖縄県浦添市 字宮城 426 | " 堀田 敏明 (勤)県立島原工業高校
(電)09576-2-2768 |
| " 川口 幸彦 (現)059-09 北海道白老郡 白老町末広町 622-822
(自・電) 削除 | 第11回里中 昌子 (現)132 東京都江戸川区新田 2-1323-3-305
(電)03-680-3593 |
| 第7回岡本 公子 (現)185 国分寺市並木町 3-25-26
(電)0423-24-8635 | " 回伊原 脩 (現)165 東京都中野区鷺宮 3-41-15 コーポ大雄 202
(電)03-338-1257 |
| " 佐藤 敷 (現)963-07 郡山市田村町 下行合字宮田 158-87
(電)0249-44-9282 | " 網島 路正 (現)187 小平市学園西町3-21-33
コーポ吉野 201号
(電)023-43-1425 |
| " 諸岡 嘉春 (勤)大成設備工業(株)
(電)06-583-5661
(自・電) 05868-7-3650 | " 山本 好隆 (現)254 平塚市中原 1-7-39
(電)0463-31-6186 |
| " 山本 光子 (勤)日大桜丘高校
(旧姓 小笠原)(電)03-329-1151
(現)158 東京都世田谷区奥沢
(電)03-717-4505 2-15-18
※昭和52年5月入会 | 第13回佐々木 巖 (現)358 埼玉県入間郡大字藤沢字筑地 501-24
(電)0429-62-9083 |

第13回庄司 忠男 (現)288 銚子市春日町 751-3
教職員住宅 1-302 号
(自・電) 削除

" 椎名 昇 (現)903 那覇市首里鳥堀町
4-61-5
椎名喜美子 " " "

" 徳永 富夫 (自・電) 0963-62-3624

" 石井 悦夫 (勤)相工大付属高校

" 西原由美子 (現)615 京都市右京区梅津
南広町 41-2
ガーデンハイム梅津 913号
(電)075-882-0149

" 過足 重六 (勤・電) 03-574-0131~6

第14回五十嵐久人 (勤) 削除

※53年7月中旬渡米

" 木下 咲夫 (現)329-13 栃木県塩谷郡
氏家町大字氏家1814-3
(自・電) 削除

" 木村 邦博 (現)389-22 長野県飯山市
木島 356

" 久保 英雄 (現)780 高知市東琴泉寺
95-4 日の出荘
(勤)立川プリント工業(株)
高知営業所
(勤・電) 削除

" 田中 章二 (現)649-63 和歌山市北野409
湯川方
(電)0734-61-1043

" 外山 宜男 (現)235 横浜市磯子区洋光台
2-1-1-9-401
(電)045-831-3137

" 山崎 雅昭 (現)336 浦和市白幡 723
金子第2コーポ 3号
(電)0488-64-9076

第15回山崎 信恵 " " "

" 林 富久寿 (現)300 土浦市小松天王
798-1
(電) 削除

" 住広 晃 (勤)鯖江高校(現)不明

第16回柄沢 康弘 (現)削除 (転居先不明)

" 北村 弘文 (勤)有上毛木材化工
(現)371 前橋市小相木町
146-6
(電)0272-53-1781

" 白土 弘士 (勤)境町立境小学校
(勤・電) 削除

(現)306-04 茨城県猿遠郡
境町 571-7
(電)02802-7-8177
(出身高校) 県立境

" 杉村 久子 (現)156 東京都世田谷区赤堤
5-14-16 ヴィバー 3号
(電)03-324-4866

" 林田 房美 (現)156 東京都世田谷区上北
沢 1-5-11 石井荘
(電)03-302-9726

第17回青木 久実 (勤)削除

(現)320 宇都宮市鶴田町
3427-32
(電)0286-35-4009

" 岡崎 恭児 (現)削除 (転居先不明)

" 寛山 秀成 (勤)三栄設備
(電)09893-7-4487
(現)904 沖繩市字仲宗根 352
(電)09893-7-0411 東方

第18回石塚 弘子 (現)222 横浜市港北区鳥山町
407

" 大友 栄紀 (現)削除 (転居先不明)

" 千田 修平 (勤)河合楽器
(電)0534-54-0483
(現)432 浜松市菅原町 10-16
河合楽器体操部寮

第12回望月 敏正 (勤)タワーサンダル
(電)0542-71-1621
(現)420 静岡市北安東 4-28-3
(電)0542-47-1276
(出身) 日大三島
※昭和52年11月入会

第18回加藤 秀夫 (現)199-03 神奈川県津久井郡
藤野町牧野 9395
(電)04268-9-2065

第19回 昭和53年3月卒業

朝倉 和幸	高島平スカイブラザ	03-935-9531	174 東京都板橋区蓮根 1-8-21 池沢荘 202	03-966-1079	日大鶴ヶ丘高
板谷 盛晴	板谷工務店		781 高知県吾川郡伊野町枝川 217-3	08889-2-2520	高知工高
伊藤三千子	藤ヶ丘セントラルスポーツクラブ	045-973-1232	166 東京都杉並区阿佐ヶ谷南 2-4-29 セントラルスポーツクラブ 寮	03-316-2677	県立由利高
今井久美子	池田健康体操教室	03-442-7171	147 東京都品川区小山台 1-31-9	03-716-9245	国学院高
大木真利子	東京西ヤクルト販売会社	03-389-5211	156 東京都世田谷区赤堤 4-12-15 依田方	03-321-2221	米沢商高
金居 俊郎	大和銀行八重洲口支店	03-281-6251	102 東京都千代田区富士見 2-14-37 大和銀行富士見寮	03-261-0428	足利工高
小林 敏彦	幼少児能力開発センター	0424-65-5395	156 東京都世田谷区桜上水 5-3-4-13	03-303-2931	久我山高
境 保則	県立銚子商業高校	0479-22-5678	288 銚子市大橋町 5 - 4	0479-22-2863	市立銚子高
斉藤 藤太	行徳小学校	0473-57-3116	272 市川市大字 2 - 15 - 14	0473-22-7322	市立習志野高
佐藤 悦子	中村スポーツセンター	0729-39-3504	583 藤井寺市道明寺 2-3-39 中路マンション 6号	0729-55-7109	市立酒田中央高
佐藤 啓	家具の田丸	0222-25-8501	982 仙台市大野田字小原 27-8 日照寺アパート		日大山形高
高橋 和秀	高島平スカイブラザ	03-935-9531	156 東京都世田谷区松原 4-24-11 春美荘		日大山形高
長野 郁代	(株)河合楽器中部スポーツ課 名古屋西事務所	052-962-7211	511 桑名市三ツ矢橋 1 2	0594-22-1577	暁 高
中村 秀二	幼少児能力開発センター	0424-65-5395	156 東京都世田谷区松原 4-13-16 紅葉荘百合	03-321-1947(呼)	市立葺合高
西村久美子	自宅		558 大阪市住吉区粉浜東三町 2 - 30	06-673-1777	四天王寺高
西谷 雅世	木頭村教育委員会	088468 役 場	771-64 徳島県那賀郡木頭村大字和無田字ニシノミヤ 23		県立徳島商高
萩原美和子	(財)埼玉県体育協会	0488-22-5171	330 大宮市堀崎町 261-1	0486-83-1481	二階堂高
島山 繁博	秋田アスレチッククラブ	0188-64-0381	010 秋田市栖山館の越 116-1 館の越荘 1号		県立能代高
藤井 昭生	幼少児能力開発センター	0424-65-5395	156 東京都世田谷区松原 3-20-4 第3はなぶさ荘		盈進高
巻島 久	阿波小学校	029894-2200	270-12 茨城県北相馬郡利根町下曾根 335	029768-2219	取手二高
松本 俊一	大和銀行八重洲口支店	03-281-6251	102 東京都千代田区富士見 2-14-37 大和銀行富士見寮内	03-261-0428	鹿児島実高
水田 靖夫	健康の企画社	03-262-7768	232 横浜市中区竹之丸 194 坂田荘		市立神港高
藪野 睦明	(株)セントラルスポーツクラブ 巢鴨	03-917-2301	156 東京都世田谷区松原 4-27-6 三上荘		関西高

ドイツ生活あれこれ

今村 悟 (第9回卒)

月日のたつのは早いもので、ドイツ生活も5年が過ぎてしまった。その間2回の帰国はあるが正味5年間はこのドイツで生活したことになる。学生生活から始まり、教師としての生活の中で結婚、そして2世誕生など、いろいろな場面・出来事を体験した。そこで今回はドイツの様々な失敗談を折りまぜながらこの国の風習などを紹介したいと思う。

外国で生活するうえで一番大切なことは、その国の言葉を知ることであると思うが、われわれ日本人にとって、これは非常に難しい問題である。ドイツ語がわかってくればくる程難しくなるのである。一生ドイツに生活してもドイツ人と同じようには話せないだろう。それが地続きのヨーロッパ人には、2・3年もドイツで生活すれば完璧なドイツ語が話せるようになるのである。その理由としては、第一にヨーロッパの他の国も殆んど似たような言葉であること。第二に外国語に接する機会が多いので自然に基本的な聞く能力が出来ていることである。例えばオランダ語などはドイツ語と大変似通っており、オランダ語をまるっきり習ったことのない私にも、何を言っているのか大体見当はつく。英語、フランス語しかりである。スペイン語とイタリア語も似ている。小さい国であればあるほど、いろいろな言葉話せる。ルクセンブルグ、ベルギー、デンマークなどの国々は、経済

的にも国力的にも、今まで戦争のたびに占領されてきたが、このような弱小国の人々は、他国語をマスターしなければとうてい生きのびて行けなかったのである。それは今日に至っても変わらない。このような状況のもとに生活するヨーロッパの人々と、遠く離れた島国に住む日本人とではおのずから大きな差があって当然ともいえるが、私にはその一因が日本の外国語教育にあるように思えるのである。

教師の発音の不正確さ、そしてあまりにも難しい文章。これでは本当の語学力の基礎は身につかないと思う。日本の入試制度から生れる弊害であろうか(？)。しかし、日本の外国語教育にも良い面はある。それは文法について極めて徹底した教育がなされることである。会話に不自由であっても読み書きはできるのである。多くの外国人労働者(トルコ人、ユーゴスラビア人、スペイン人など)は、話すことは出来ても読めないし書けない場合が多いのである。

ドイツ語はヨーロッパの中でもかなり広範囲につかわれている。オーストリアの国語はドイツ語だし、スイスの50%以上がドイツ語を国語としている。それに勿論西ドイツ、東ドイツである。これらのドイツ語は均一なものではなく、日本の東北弁と鹿児島弁ぐらいの違いがある。離れた地域の人々と話していても、最初は何を言っているのか私にはさっぱり理解できな

い。そのうち慣れてはくるがそれでも半分くらいなものである。自分の語学力に自信を失って自分の住む街に帰ってくると、今度はよくわかる。そこで初めて方言の違いに気づくわけである。

その方言の違いがあると同時に、人間も北と南では大きな違いがある。北ドイツ人は大体において厳格であるのに対し、南ドイツ人は陽気でお祭り好きである。北にはゲルマン人が多く、南はフランケン人を主としていろいろな人種が混っている。

2月のカーニバルの季節には、南ドイツの人人は一週間も前から毎晩飲んで騒ぎ、カーニバルの終わったあとでもしばらくは仕事も手につかない状態であるのに対して、北ドイツでは何んのお祭りもなく、カーニバルの様子をテレビで見て、家族で飲みながら静かに過ごす程度である。

昔、テレビのコマーシャルで、三船敏郎がドイツ人と一緒にビアホールで腕を組んで歌っているのがあったが、あれなどは殆んど南ドイツと考えるとよい。見知らぬ人でも一緒に大合唱となるような雰囲気は南ドイツにはあるのである。私の住んでいるマイナーツハーゲンは、中央ドイツに位置し、大体標準語の圏内である。ゲルマン系が多いようで、一般にあまり陽気ではない。日曜・祭日などは背広にネクタイといったきちんとした服装をしている。

ところで、ドイツでは休日は仕事が禁止されている。レストラン・映画館・コーヒーハウスぐらいしかあいていない。従って休日のわれわれの生活はいたって優雅(?)なものである。日曜

大工も大きな物音をたてて他人に迷惑をかけてはダメだし、買物しようにも店は全部閉まっているので、天気の良い休日などは、せいぜい散歩がてらのウインドショッピングか、近くの森や湖へ出かけるぐらいである。子供たちも休日には皆おとなしくしている。宗教上の違いなのだろうが、日本の休日とは大変な相違である。州によっては洗車することさえ禁止されている所もあり、たとえ許されている所でも休日の洗車は殆んど見かけない。

車といえば、ドイツ人は他のヨーロッパ人に比べて車をよく手入れするしきれいにしているようである。ヨーロッパの多くの国は車検がないが、ドイツは2年毎に車検があり、検査はかなり厳しい。

ヒットラーの残した遺産であるあの有名なアウトバーンは、他のヨーロッパ諸国に比べて問題にならないほど発達しているが、初期に作られた古いアウトバーンはいたみがひどく、また狭いので、始終補修工事や改良工事で渋帯をまねいている。渋帯さえなければ、アウトバーンほど快適な交通網はないであろう。第一タダなのがよい。

制限速度は特別定められておらず、正しい速度は130Km/hとされているが殆んど車は140~160Km/hで走っており事故も多い。しかし国道の事故はそれを上回るほどである。ドイツの国道は民家がなければ100Km/hまで許される。猛スピードでの無理な追い越しなどで衝突事故が多く危険である。

ドイツの冬は日本の北海道あたりの寒さなので、道路が凍ったり雪のため事故が多くなる。

それなのに3年前からスパイクタイヤが禁止された。理由、スパイクタイヤによる道路の破損がひどいということと、良質のスノータイヤが開発されたためである。しかし、いくらスノータイヤの品質が向上しても、スパイクタイヤに比べれば事故率が高く、今だに議論は続いている。

事故による渋滞の他にも、特別な行事がある度に大渋滞が起る。春の復活祭、夏休みの最初と最後の土・日曜日、そしてクリスマスなどにはアウトバーンはあきらめた方がよい。国道の方が早く目的地に着ける。西ドイツがヨーロッパの中央に位置しているの、ドイツだけでなく、他の国々の人々もアウトバーンを利用して、通過したり訪問したりするのでその影響もある。

私も、この交通マヒにまき込まれて大変苦労したことがある。1975年のクリスマス休暇を南ドイツのアルゴイ地方で過ごすため、クリスマス翌日の12月26日に出発した。シュトゥットガルトまでは順調に走っていたが、その先からノロノロ運転が始まり、朝10時に発って目的地に着いたのが夕刻6時半、約400kmの道のりを通常の倍以上かかってしまった。そのうえ、予定していたスキーヒュッテは山の上なのにリフトも終了してしまっていた。幸い交渉の結果雪上車で送ってもらうことができたが、30マルクという予定外の出費をしなければならなかった。

予定外の出費といえば、国情を理解していなかったためにとんだ経験をしてしまったが、そのことについてふれてみたい。

去年の8月女房の調子が悪く入院することになった。勿論初めての出来事である。西ドイツでは直接病院に行って診察を受けるのではなく、最初開業医に行き、証明書(紹介状)をもらってから病院に行くのである。この時は約7日間の入院であったが、ドイツの病院制度について何んの知識もなく2等室に入れた。ところがドイツでは3等室まであり、2等室は余分にお金を払わなければならないのに3等室は全部タダ。入院費・手術費・主治医費等大金を払う羽目になった。こんな失敗があったにもかかわらず、次の入院の時にも同じようなことをまた繰り返してしまった。3等室でも2人部屋と4人または6人部屋があり、2人部屋の場合は部屋代だけ余分に払わなければならないのに、それを知らなかったために3等の2人部屋でタダと思い込んでいたのである。一ヶ月後に請求書が届いて愕然としてしまった。

3回目の入院は出産の時だった。今度こそ間違いのないように、3等室で4人か6人部屋に入るべく手をつくしたが満員とのことでやむなく2人部屋に入れた。出費を覚悟していると、出産の場合は全てが無料だったのである。自分の語学力の不足と認識不足にすっかり頭にきてしまった。これらの制度をしっかりと理解していれば出産費用は全てタダになるわけで、高い出産費用を払わされる日本より良いのかもしれない。いずれにしても初めてのことで勝手がわからず高い授業料を払ってしまった。

さて、この辺で話題を変えてドイツ料理について述べてみよう。結論からいえば、ドイツ料

理は、日本料理に比べて数段劣ると言わざるを得ない。調理法は同じようなものばかりだし、大旨大味である。材料も日本ほどバラエティーに富んでいるわけではない。

代表的な料理といえば、まず何んといってもジャガイモ料理とソーセイジである。その他では酢漬けのキャベツやキュウリ、それにサラダぐらいのものである。肉は日本よりずっと安いのだが、かたまりのまま煮るか焼くか、またはゴーラッシュと呼ばれるシチュー、シュニッツェルのたぐいで、日本の薄切り肉にはお目にかかったことがない。包丁さばきは下手くそで、キャベツのせん切りなどは絶対に出来ないようである。大体においてドイツ女性は料理が好きではないようである。しかしケーキに関しては抜群に上手らしい。らしいというのは、私はケーキを食べないので、それがどんなにおいしいかわからないからである。種類も無数といっていいほど豊富であり、女房の感想によれば、どれもとてもおいしいということである。日曜・祭日の前日にはどこの家庭でもケーキ作りに忙しい。これを3時のお茶の時間にたっぷり食べ、翌朝また食べるといった具合で、ドイツ人はビールとケーキで太ると言われるのも道理である。

ドイツ人は夜になるとサッカーの番組に熱中する。ヨーロッパのサッカー熱は表現の言葉も見当らないほど、とにかくものすごい。数多くのランクに分かれており、一部リーグは土曜日、二部リーグは金・日曜日、そして水曜日にはヨーロッパ間のクラブ対抗戦や国際試合が行なわれる。つい先日、一部リーグが終了して今年もケルンが優勝した。このチームに、去年の10

月、日本人選手が入った。ヨーロッパのプロリーグで初めての日本人ということで大変話題になった。彼は3月ころまでは雰囲気慣れず、またスタミナ不足もあっていつも途中で交代させられていた。ところが4月に入って突然大活躍、最後の3試合では正にヒーローとなり、ケルン優勝の立役者となった。最近子供達が「オクテラはすごい……」と私の所に言いにくる。今まで「日本人はサッカーができるのか」などと言っていた連中が、である。日本人として、彼の活躍はとてもうれしいことである。

サッカーには気違いじみたファンが多く、いつも問題になっている。南米やスペイン、イタリアあたりに比べれば大人しいものだろうが、それでもファン同士が試合中にけんかをはじめ流血さわぎが起るなどはめずらしいことではないし、ひいきチームが負けたりすると、集団で街の中を暴れまわり、商店や住居に被害が出ることもしばしばである。

ワールドカップが6月1日からアルゼンチンで行なわれるが、西ドイツは優勝候補のひとつであったにもかかわらず、4月に行なわれた対スエーデン・ブラジル戦に連敗してしまった。それだけで大変な騒ぎなのである。そのため、去年の春、ニューヨークコスモスに移った世界一の名プレイヤーであるフランツ・ベッケンバウアーを呼び戻そうとする運動がにわか高まってきた。この問題は国会でも取り上げられ、あるサッカー狂の議員は、ベッケンバウアーが居なければ西ドイツは優勝できないであろうから、政府はアメリカ政府に働きかけ、是非にも彼を連れ戻すべきであると大演説をぶった。

とにかく、一サッカー選手の去就をめぐるって国会が熱くなるほどのサッカー狂の国なのである。ワールドカップは世界中が湧くであろう。私も6月はテレビの前に釘付けとなり寝不足の日を過ごさなければならない。この号が出ている頃は決勝戦になっているかもしれない。

さて、最後にドイツ人は日本のことをどのように思っているかについてふれてみよう。

まず第一に言えることは、日本についてあまりにも認識不足だということである。学校の教科書にも20年前ぐらいの写真が出ているような有様で実に残念である。文部省や外務省は、各国に対しもっと熱心に日本の真の姿を伝えるべく努力すべきだと思う。

1973年に始まったオイルショックは世界中を不況に陥し入れたが、それまで日本の黒字貿易にあまり関心を示さなかったEG(EC)は、急に日本に対する批判を強め、問題とするようになった。

西ドイツは現在100万人の失業者がおり、約40%の失業率である。ドイツ人と話していると、日本はヨーロッパをこわしているといったことを言われる。妙な表現だが、日本の企業がヨーロッパ諸国の中小企業を圧倒し、倒産させているという意味である。新聞や雑誌が日本の悪口を書くので、一般市民までがそう信じ込んでいる様子なのである。私が、日本の経済状態や、ヨーロッパの企業との違いなどを説明してやってもなかなか理解してもらえない。

このようなことで、去年一番問題になったのは、ベアリング会社の件である。日本の企業は

最新式の設備で大量生産しているのに対して、西ドイツでは昔ながらの町工場並みの設備であり、その上人件費も高いので当然コストは高くなる。品質もあまり良くない。従って西ドイツの有名な自動車メーカーでも、日本からベアリングを買うことになる。西ドイツのベアリング会社は、これを日本のダンピングだとして抗議する。しかし、日本の大手会社を何社も合わせたくらいの規模をもつスウェーデンの会社には何も文句を言わない。なぜ日本企業だけが攻撃の対象となるのだろうか。日本人としてその不公平さに腹が立ってくるのである。日本は、ヨーロッパから遠く離れているため、まだよく理解してもらえない面があるようである。

日本とドイツ、いやヨーロッパはまだまだ遠いのである。



編 集 後 記

一年はあっという間である。今年もまた会報の編集に追われる日が続いた。数えて第15号、内容も一段と充実して、といたいところだが、もう少し多くの原稿が欲しいといつも思う。勿論、寄稿のあった作品についてはそれぞれ素晴らしい内容のものであるが、こうした作品をいろいろな人から得たいと思うのである。

今春卒業の23名を迎え、会員数は優に400名を越えた。その人達が全国各地、否世界にまで飛び出し、実に様々な仕事に就いている。苦労話もあるだろうし自慢話もあるだろう。愉快な話だって深刻な話だってあると思う。そんな話を是非聞きたいものである。年一度の会報ではあるが、常に新鮮な内容にしたいと願っている。久しぶりに知る仲間の消息は、たとえ年一度であっても新鮮な喜びを覚えるのではないだろうか。

今年の5月には第7回卒の山本(旧姓 小笠原)さん、10月には第12回卒の望月君、今

年2月には第4回卒の池田(旧姓 二条)さんを会員として迎えた。それぞれの事情があって途中で部をやめた人達だが、年月を経て桜樹会の存在を知り、名簿や会報に接するに及んで夫もたてもたまらず入会を希望された由である。

会則第5条には、本会は日本大学体操部のOB及びOG、ならびに本会の趣旨に賛同し、会長が特にこれを認められた者を以て組織する、とある。

来る者拒まず、去る者追わずの本会の精神は間違っていないと信ずる。同年代にそのような人が居たら、ぜひ会長まで推薦して欲しいものである。

会報が桜樹会の人間関係を深め、輪を広げることに役立つなら、それに増した喜びはない。

(編集子)



広告募集について

本号から広告欄を設けて広告を募集することにいたしました。

この広告は実質的な宣伝効果はともかくとして、自営業の方は勿論のこと自分の携っている仕事の内容などを広く会員の方々に知って載るためにご利用下さい。

卒業後のあの人はこんな仕事をしていたのかななどと、名簿の職業欄では知り得ない面がわかったり、あるいは自分の身近かな所で、思わぬ人が意外な職

業に就いていたりするかもしれません。

配偶者求む!などの広告もユニークではありませんか……………。

広告料は特に定めず、印刷代実費プラスアルファ一とし、会報発行費用の一助にいたします。いわばPR効果を期待しないPRとしてご利用願えればと考えております。

土木・建築・設計・施工・管理

株式会社 市 組

江戸川区葛西 2-3112

TEL 680-3484

第1回卒 石井征也

大小にかかわらず責任をもって行ないます

セットなしパーマ ご存知ですか？



セットなしパーマは……
シャンプー後のお手入れがぐーんと楽になります。
シャンプーしてもカールはとれません。
ブラッシングだけで美しいカールが生れます。

BEAUTY SALON **INAHASHI**

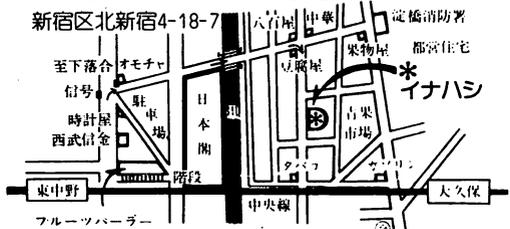
お手入れがめんどろな時こそ美しいカットラインが大切です
デザインカット …………… ￥2,000-
(フレッシュアップ カット フロー付)

あなたのもうひとつの顔 ご存知？
セット …………… ￥900-

おしゃれなあなたのヘアースタイル お手入れが簡単ですか？
セットなしパーマ …… ￥5,300-
(フレッシュアップ カット フローセット付)

- 火曜日定休
- 営業時間
午前9時～午後6時30分(日・祝日=午後6時)

ビューティーサロン
イナハシ ☎362-2018



ビューティーサロンイナハシでは、あなたの毛質、毛流、顔型、あなたのご希望とご相談のうえ、よりよいヘアースタイルへとアドバイスいたします。男性パーマ、女性パーマの方もお気軽にどうぞ。

電話予約歓迎
☎(362)2018

(編集係 註)

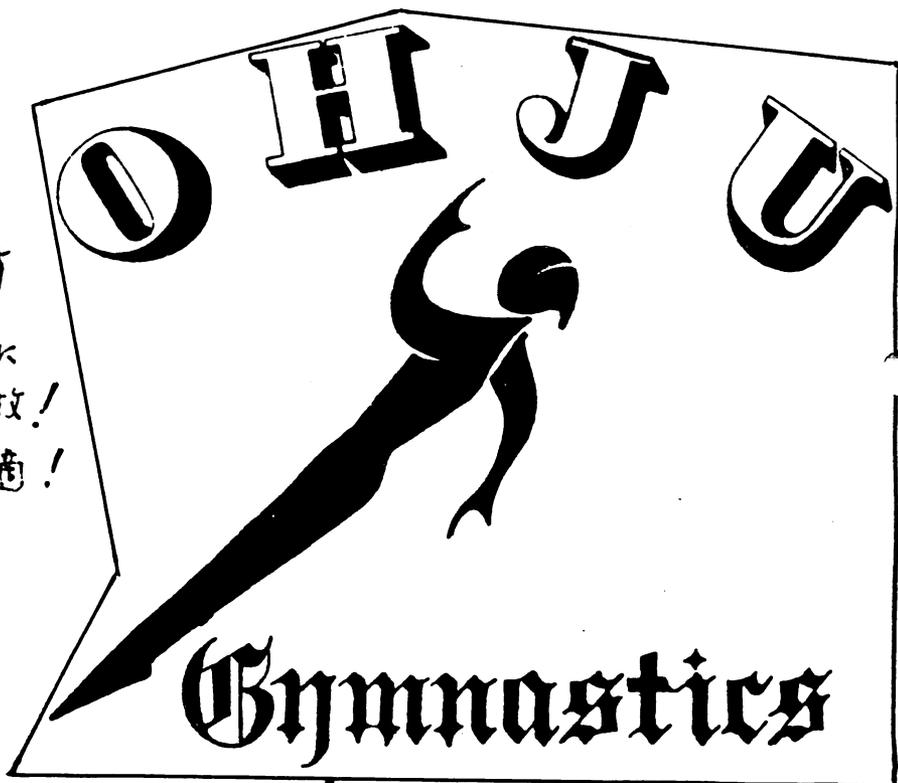
美容師 稲橋恭子さんは第1回卒業のO.Gであり、人も知る会長夫人です。
「変身おしゃれに生きがいを感じています」とおっしゃる美容歴10年のベテランです。
あなたもどうですか？

先輩の手で華麗なる変身をなさっては……。

櫻樹会のTシャツができました。

櫻樹クラブの
メンバーも着て
います

練習用・普段着に
あはれもせい一枚！
ジーンズにも最適！



カラー=白(赤プリント)
サイズ
S.M.L.LL

* ¥2,000.- (送料込み)

差額は会に入金ほす
御協力下さい

* ご希望の方は下記へ代金と
サイズ・枚数を明記してご連絡
下さい。お送り致します。

体育服装品製造発売元

株式
会社

津留美

東京都品川区戸越5丁目3番4号
TEL (786) 3344 (代) 〒142